



【名和地区】名和ささえあいネット

令和7年11月

【活動紹介】

▼居場所づくりを進めるため、各地区内の居場所に訪問しています！



●高齢者が住み慣れた場所で自分らしい生活が送れるようにそんなあたたかい地域をみんなで一緒につくっていきましょう



協議体とは、地域に支え合いの輪を広げる活動を進める場であり、各種団体等有志の皆さんで話し合いや情報共有などを行っています。
名和地区協議体では、平成29年8月から名称を「名和ささえあいネット」とし、困りごとに関するアンケートや、居場所・お助け隊など、支え合いの活動の紹介等を行っています。
今日は、名和地区の支え合いの活動や、ふれあいの居場所の活動をご紹介します。

支え合いの取り組み♪

< 八斗島町 >

八斗島町では、火の見やぐらをモニュメント化し、あずまや・砂場を作り高齢者だけでなく子供の親子など誰もが交流できる居場所づくりを進めています。
今後はオープニングセレモニーなどを予定しています。



▲協議体だよりでは、「ふれあいの居場所」の紹介などを掲載しています



【現在の取り組み状況】

現在、名和ささえあいネットでは令和7年度のテーマ「居場所って良い場所のこと？～みんなで良い場所 居場所づくり～」を合言葉に活動しています。

平成29年8月に「地域支え合いについての勉強会」を経て集まったメンバーにより発足した「名和ささえあいネット」は、支え合い活動や協議体についての普及・啓発のための回覧の発行や、高齢者のニーズ把握のための「困りごとに関するアンケート調査」などを実施し、地域における課題の分析や問題解決に向けた話し合いなど（ごみ出し支援、居場所作り）を行ってきました。

そのような活動により、一人暮らし高齢者等のちょっとした困りごとを手助けする、生活支援サービス「八斗島町お助け隊」の立ち上げや、ふれあいの居場所の立ち上げなどにつながりました。

【今後の予定】

- ・ふれあいの居場所づくり
- ・協議体だよりの発行による協議体、地区内の社会資源の周知

